

酷暑の夏 川に親しむ

国土交通省 木曽川上流河川事務所 揖斐川第二出張所
〒503-0813 大垣市三本木2-651-1 TEL 0584-81-1034
URL http://http://www.cbr.mlit.go.jp/kisoyjo/understand/ibi_02.html

■酷暑の夏で賑わう河川

今年の7月から8月の2ヶ月間で、大垣市の最高気温が35℃を超えた猛暑日が18日間発生し、日本列島全体が記録的な酷暑となりました。暑い夏を少しでも涼しく過ごすため、揖斐川では、休日を中心に、家族連れや若者達が水遊びやバーベキューを、また、アユの友釣りなどを楽しむ姿がありました。



水辺に憩う人たち(新揖斐川橋から望む)

■夏の夜は河川敷での花火

7月27日(土)、第57回岐阜新聞大垣花火大会が、揖斐川河畔で開催され、約3,000発の大輪の花が、西美濃の夜空を華やかに彩り、詰め掛けた多くの観客からは大きな歓声が沸き起こっていました。

当日は晴天ながら、比較的涼しい花火日和で、今年も多くの観客が集まり、夏の風物詩イベントとして大きな成功を収めたと思います。ただ、華やかな祭りの裏側に、とても寂しい現状がありました。堤防道路などに、飲み終わったビールの空き缶やペットボトル、食べ物の包装など、多くのゴミが無残に放置されていたことです。河川は、都市に残された貴重な自然空間です。是非、楽しい思い出とともにゴミも持ち帰っていただきたいと思ひます。



2尺玉カムロ菊



花火写真 岐阜新聞社提供



スターマイン

■賑わう河川を守る住民の表彰、そして見守るモニターの委嘱

大垣市三本木子供会に感謝状が贈呈されました！

揖斐川の堤防や河川敷の清掃活動に長年取り組んで来られました大垣市三本木子供会に対し、中部地方整備局長から感謝状が贈呈されました。同子供会は、昭和57年から30年以上にわたり、揖斐川右岸の堤防などで、年2回の清掃活動を行っており、同表彰は平成4年度に続き2回目となります。7月23日(火)、三本木公会堂で行われた贈呈式には、児童8人が出席し、細野揖斐川第二出張所長が、児童代表の中村美咲さんに感謝状を手渡しました。



【三本木子供会・保護者会長 金森由香子さんのコメント】

最近は、渋滞で止まった車がペットボトルや空き缶を捨てていくケースが多く見受けられますが、大人もマナーを守っていただきたいですね。子供たちはゴミを拾うことでモラルが身に付いてきていますので、今後も、長く活動を続けていきたいと思ひます。

～住民の目線で見る川のこと～ 平成25年度 河川愛護モニター決まる！



「河川愛護モニター」とは、川の付近に住んでおられる方から、生活の中から見た川の様子や、川への想いを定期的に情報発信して頂く方で、応募により、毎年、選定しています。

今年、揖斐川中流域の河川愛護モニターとして、残馬憲一さん(大垣市在住)が選ばれました。

【残間さんのコメント】

河川は山と海をつなぐ大きな生態系です。豊富な水と緑、そこに生息する生物と構成される空間は人々の暮らしと切り離せません。河川へのゴミの不法投棄は土壌汚染、水質汚染を引き起こす原因となり、生活に直結する環境汚染にも繋がります。不法投棄物を見つけたら正確に現状を報告し、自然環境の維持、再生に貢献したいと考えています。

■酷暑での減水対策

徳山ダムの放流水を一時的に増量放流、河川環境の更なる改善を試みました！

徳山ダムからの放流状況

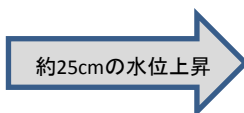


8月21日 12時

8月下旬、揖斐川の水量が少ない時期を見て、徳山ダムからの放流量を一時的に増やし河川環境を改善する試みを行いました。これは、川の流れに変動を与えることで、生息する魚類の餌となっている付着藻類の剥離・更新、淵や淀みの水環境の促進、汽水域の生物生息環境の更なる改善を目指したもので、今後、数年間をかけて試験と調査を行い、効果や影響を確認していく予定です。



8月21日 11時(万石地点)



8月22日 9時(万石地点)

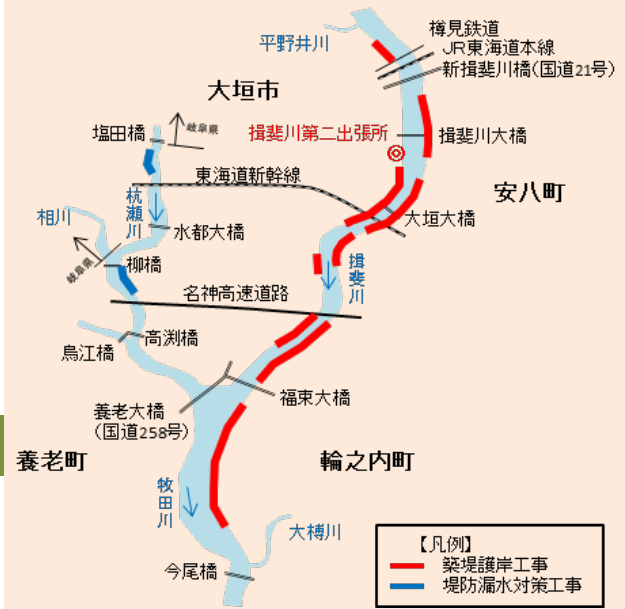
昨年7月、九州北部地方において、これまで経験したことのない大雨が降り、各地で河川氾濫や土石流等、甚大な災害が発生しました。国土交通省は、この災害を契機として、日本全国の堤防等における緊急点検を実施し、高い緊急性と効果が認められた揖斐川や杭瀬川などを、緊急かつ重点的に整備することとしました。

この事により、今年度、揖斐川においては、堤防法面にコンクリート護岸を張り、洪水による洗掘・浸透を防ぐための工事を行います。杭瀬川においては、低い堤防の嵩上げなど堤防断面を大きく広げるとともに、川表側に止水矢板の遮水壁を設置し、基礎地盤への浸透水量を低減させる等、堤防を補強するための工事を行います。



矢部川水系矢部川堤防決壊 (福岡県柳川市)

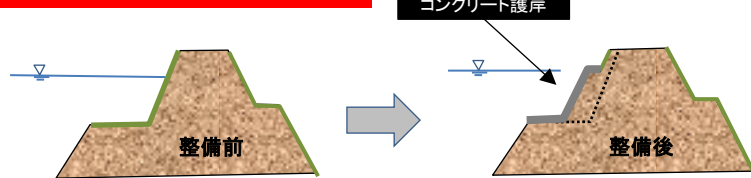
【平成25年度 工事施工箇所図】



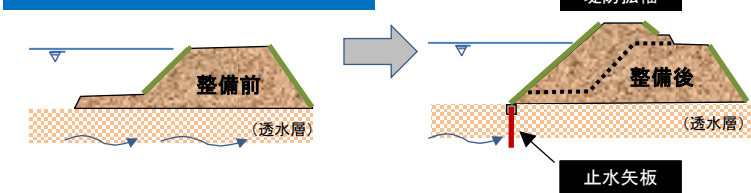
※本工事の施工に伴い、H26.2月～3月頃にかけて、片側交通規制を実施する予定です。詳細は、後日、お知らせします。

本年10月から、本格的に堤防改修工事が始まります！

① 揖斐川の堤防改修工事の事例



② 杭瀬川の堤防改修工事の事例



平成14年7月洪水 (揖斐川万石地点出水状況)



平成20年9月洪水 (杭瀬川右岸浸水状況)

■Wハザードを想定した市町村との防災連携訓練

○ 9月の防災月間に合わせて、管内の安八町、輪之内町において防災訓練が実施されました。(大垣市は雨天により中止)

○ 大雨や地震による大規模災害が発生したことを想定し、市町からの応援要請を受けたシナリオで、国土交通省からは、リエゾン^(※1)の派遣と、排水ポンプ車による内水排除のための操作訓練を実施しました。



※1:「リエゾン」とは、国土交通職員が市町村等へ派遣され、災害情報を収集したりする情報連絡員のこと。



8月28日 安八町 町職員による非常参集訓練

9月1日 輪之内町 排水ポンプ車による排水操作訓練

【出張所コメント】

○ 最近、自然災害が巨大化・複雑化してきています。減災という点で、行政間の連携も重要ですが、まずは、住民一人一人が自立的に避難が出来るよう、日頃から備えておく必要があります。

■川の防災情報 (河川の水位や雨の情報)

<http://www.river.go.jp/>

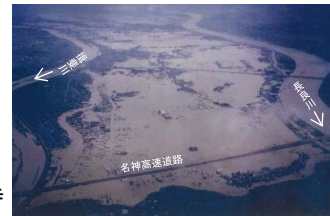
■木曾川水系浸水想定区域図

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/rootup/index.html>

■S51. 9月 長良川水害を教訓に訓練を実施！

○ 8月5日(月)、国土交通省木曾川上流河川事務所は、職員を対象に、洪水と地震を想定した堤防決壊時の緊急対策シミュレーション訓練を行いました。

○ 昭和51年の長良川水害時に、実際に災害対応した元職員から、当時の状況などについて説明を聞いた後、堤防が決壊した想定で、復旧工法や資機材の経路の確認等の訓練を実施しました。



昭和51年9月洪水 (長良川・大森地先破堤)



■水害に強い町づくりについて意見交換会を開催！

○ 7月31日(水)、国土交通省木曾川上流河川事務所は、輪之内町の木野町長をはじめ町幹部職員らと、「水害に強い町づくり」について意見交換を行いました。

○ 輪中地域という地形的特徴があり、洪水や地震による災害リスクが高い同町にとって、壊滅的な被害から町を守るため、広域防災の重要性を強調、防災の拠点となる施設整備や名神高速道路から揖斐川天端道路に直接繋がるアクセス道等について提案がありました。



市町村の水防施設の拠点

災害時

防災の拠点となる施設イメージ